



学校通信

嘉麻市立稲築東中学校

11月号 令和3年11月1日

文責 校長 松尾正剛

Challenge と 挑戦

11月を迎え季節はすっかり秋へと移り変わってきました。学問の秋、スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋…この季節は何をするにも気持ちがよく、活動にはベストシーズンです。

9月末まで緊急事態宣言という様々な活動制限がある中、生徒の皆さんは10月8日の体育会に感染症対策の徹底という難しい課題と向き合って体育会を成功させました。

大きな声を出さずに「密」を避け規模を縮小しながらも取り組んだ競技・大縄跳び・学年競遊など、「できないこと」をスタートにするのではなく、「この状況の中でもできること」をポジティブにとらえ、一生懸命に取り組んできたと思います。

そこで、今後の学校生活に向けても「チャレンジ」と「挑戦」をお願いしたいと思います。

「チャレンジ」は「doing」のイメージで現在継続中のときに、「挑戦」はこれから挑もうとするときに使われるそうです。ですからどんな小さな一歩でも踏み出したときに「挑戦」であり、それを継続することが「チャレンジ」なのです。

そして「チャレンジ」となるために必要なことは、「100%自分で決める」とこと「本気」であることの2つだと言われています。

自分のための挑戦であり、それを自分で決めなければ、うまくいかなかったときに責任を何か（誰か）に転嫁してしまいがちです。そして「本気」とは一つのことを継続できる力だと言います。

最近の生徒たちの会話を聞いていて残念に思うことは、簡単に「絶対ムリ」とか「最悪」と言った言葉を口にする人が多いようです。生徒の皆さんも思い当たることがあるのではないのでしょうか。

頑張っていることや目標を頭の中で考えているだけでなく、言葉にすることは大事なことですし、言葉が行動を引っ張ることもあるので、何かに取り組むときにはネガティブな言葉は使わないで頑張ってみる。それが「本気を出す」ことにつながります。

皆さんは今、何かに「挑戦」していますか。それともすでに「チャレンジ」しているのでしょうか。どんな小さなことでもいいので、今年の秋は「チャレンジの秋」にしてほしいと思います。

考查テストの勉強の仕方

考查テストは、日頃の学習の成果を確認するものです。今月の24日から3日間、期末考查が計画されています。考查前に慌てて、勉強をしなくていいように、早めに期末考查に向けての準備を行ってほしいと思います。考查への取り組みとして、次の6点が考えられます。

「遅くとも2週間前には、テストモードに切り替える」

スタートの時期が早いほど効果は上がります。

「学習のリズムを大切に」

苦手教科の克服も大切であるが、得意教科から取り組み、学習のリズムを作ることが大切です。



「不安を持って考查テストに臨まない」

わからない部分やわからない範囲をそのままにして、不安を持ってテストを受けないようにする。

「教科書・ノートを最大限活用する」

授業で学んだことをどれだけ理解できているか、学んだことを活用できるかを見るのがテストです。ノートで授業内容をしっかりと確認する。

「テスト対策ノートを作成し、自分自身の取り組みを明らかにする」

対策ノートが勉強の足跡になります。テストへの集中力を高めます。

「テスト終了後、自分で再テストを最低2回行う」

理解すべき内容を後回しにしない。自分自身の課題克服の為に再テスト・再復習を必ず行う。この取り組みが次のテストで必ず生かされます。

11月の主な行事予定

月	日	曜	行事	月	日	曜	行事
11	2	火	ノ一部活デー(5時間授業)	11	17	水	登校指導、オンライン英会話(2年生)
	5	金	第4回実力テスト(3年生)		19	金	部活動試験休み(~25日)、3年進路保護者会
	7	日	嘉飯桂地区新人大会(バスケット)		24	水	登校指導、期末考查1日目、SC来校日
	10	水	登校指導、SC来校日、オンライン英会話(2年生)		25	木	期末考查2日目
	11	木	大隈城山校体験入学		26	金	期末考查3日目、鎌田靖さん講演会(2年生)
	12	金	嘉麻市研究発表会(3時間授業)		27	土	嘉飯桂地区新人大会(卓球男子)
	14	日	嘉飯桂地区新人大会(剣道)		28	日	嘉飯桂地区新人大会(卓球女子)